

# 地道な作業をコツコツと続けられる人こそ向いている研究職

王 斗艶 熊本大学大学院先導機構・衝撃エネルギー科学准教授

## 介護のため企業を退職。 その後博士課程へ

ものづくりや対人コミュニケーションが好きだったこともあり、修士課程卒業後は企業に就職しました。しかし就職後、家族の介護問題に直面し、働くことと介護の両立の難しさを知り、退職を決意。その後、周囲の協力を得て社会復帰ができる状態となりましたが、企業勤務時代に感じた自身の専門知識不足を補うために、博士課程への進学を決めました。

子どもの頃は、探検やSF小説が好きで、漠然と「宇宙飛行士になりたい」と思っていました(笑)。現実的な難しさから宇宙飛行士の夢は諦めましたが、次第に「開発途上国の役に立つ仕事がしたい」と考え、苦手だった理系を選択。大学生の時に初めて訪れた中国の揚子江下り旅行で、劣悪な環境汚染を目の当たりにして、環境保全関係の仕事に就くことを決心しました。結果的にたどり着いた現在の研究職が、実はこの時の夢の実現に結びついているかもしれません。

これからは、世の中に役立つ研究結果を排出していけるよう、日々精進していきたいです。



研究室の学生とキャンプで人吉へ

## 研究職は選択肢のひとつ。 どんな仕事も一生懸命に

自身の家庭環境から「仕事は一生するもの」という意識が幼い頃からあり、大学院への進学もかなり早い段階で決めていました。いろいろ辛かった時期も「これは将来のためだ」と自分に言い聞かせて乗り切ってきたので「仕事を辞める」という選択はありませんでした。しかし大人には、自身の夢の実現に加えて、子育てや介護などの家族の世話や社会環境など、多くの壁が立ちほだかります。私は同業者である夫の理解と家族の支えがあるから、仕事を続けていられると思っています。

人生の選択はどんな時でも難しいもの。「正解を見つける」よりも、自分が「後悔しない道」を選ぶことが重要です。企業でバリバリと働くことも、また主婦として家庭を支えることも大切な仕事です。研究者は、そんな数ある選択肢のひとつです。また、コツコツと地道な作業を続けられる人こそ、研究者に向いているのではないかと個人的に思っています。ぜひ、粘り強く夢を叶えてみてください。



様々なことを学んだ英国留学を経験して、「百聞は一見に如かず」を座右の銘と決めた



Douyan Wang

工学部  
修士課程  
企業(設計職)  
博士課程  
大学研究員  
大学教員(ポストドク)

コツコツと続けられる人こそ研究者向きですよ

### One day

6:30 起床、家族の世話  
8:40 大学へ  
講義、打合せ、研究、事務処理などの業務。昼食をとらない(とれない)ことも多い  
20:00 帰宅→家族の世話、家事  
23:00 子どもたちを寝かしつける  
23:30 自宅でデスクワーク  
(業務の進捗状況によっては5:00頃まで働くことも)

◎座右の銘  
百聞は一見に如かず  
◎リフレッシュ方法  
飲み会

### profile

おうとえん / 1986年に家族の仕事で来日。その後、熊本大学で修士課程を修了するまで主に熊本で過ごす。(株)日立製作所へ就職し、2年間余り原子力事業部で電気計装設計を担当したが退職、結婚を経て熊本大学博士課程へ。高電圧パルスパワー技術を用いた環境浄化やバイオ応用の研究に携わる。英国や米国への留学経験を活かし、様々な社会背景を有する人と交流することを好む。工学博士。8歳と5歳の2児の母。



Q.子育て中に最も頼りにできた(できそうな)のは誰ですか?(複数回答含む)

夫(パートナー) 64% 親 51% 兄弟 0% 友人 13%  
ベビーシッター 16% 保育園 52% その他 13%